

清荒神参道俳句会 二月句会

参加者二十五名 日時 二月十八日(第三金曜日)

高点句は次の通りです。

記

湯上の五臓六腑に寒の水

良男

指先に小人の踊り毛糸編む

久美

恙なく喜寿を迎へて春の句座

芳山

夜を看る朝焼の空冴返る

郁子

寒菊に生きる力を貰ひけり

和子

手のひらの椀に暖とる春淺し

久次

下萌の地を踏み締めて退院す

昭六

きらきらと光り流るる春淺し

朔子

土手の陽や睦みていたり犬ふぐり

きよ子

山眠る一国一城懐に

百樂

ランドセル歩いてみせる春待つ子

秀女

